

文化遺産総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	福岡県・大牟田市	2 補助事業の種類	世界文化遺産活性化
3 実施計画の名称	大牟田市近代化産業遺産を活用したまちづくりプラン		
4 実施計画期間	平成 29 年度 ～ 平成 31 年度		
5 実施計画の概要			
<p>大牟田市には、他の地域にはない本市固有の貴重な財産である三池炭鉱関連の近代化産業遺産が数多く残っている。これらの遺産を保存し、また、炭鉱を支えた人々の思いやさまざまな労苦、出来事を後世に語り継いでいくことで、本市の歴史・文化の成立ちを永続的に次世代へ継承し、更には、まちづくりにも活用していくことが大切であると考え、平成24年9月に「大牟田市近代化産業遺産を活用したまちづくりプラン」を策定した。</p> <p>また、平成27年7月には、「明治日本の産業革命遺産」の構成資産として、三池炭鉱関連資産である本市の宮原坑、専用鉄道敷跡、三池港が世界文化遺産に登録され、まちづくりとして活用している地域の財産が、「世界の宝」になったことで、市民がわがまちを再認識し、わがまちへの愛着と誇りを強く持つきっかけとなっている。</p> <p>一方で、市内に残る各遺産は、産業遺産という性質上、ただ資産を見るだけでは、その価値を見出しにくいものとなっている。各資産の歴史や価値を理解するには、ガイド等の役割が特に重要となってくる。</p> <p>こうしたことから、世代を問わず、多くの方々に三池炭鉱関連資産の歴史や価値を分かりやすく理解してもらうことを目的に、事業を実施する。</p>			
6 実施体制			
<p>大牟田市が本実施計画に係る全体の企画・調整や、各補助事業に係る指導等を行う。</p> <p>主な担当課は下記のとおり。</p> <p>企画総務部世界遺産・文化財室：各補助事業における文化財の取扱等に関する指導・調整等 産業経済部観光おもてなし課：観光業務に関する連携・調整等</p> <p>また、補助事業は次の団体が実施する。</p> <p>大牟田市近代化産業遺産を活用したまちづくり協議会</p>			
7 実施計画における目標と期待される効果		別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成28年度交付決定額： 千円	平成29年度申請額： 1,497 千円
(2) 実施事業の概要		別紙②のとおり	
9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）			
<p>本市の発展と共に歩んできた三池炭鉱の歴史は、地域の人々にとっても「炭鉱のまち」の記憶として大切な地域の宝である。この地域の宝が、平成27年に世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産」に登録され、「世界の宝」となったことから、炭鉱関連の近代化産業遺産に対する関心や意識があらためて向上し、地域の活性化が期待できる。</p> <p>さらに世界文化遺産を契機として地元商工会も盛り上がりを見せていることから、行政と民間団体さらには地域住民との連携・協体制が構築されつつあり、世界文化遺産に登録された宮原坑、三池港等への観光入込客数も平成28年度は50,000人が見込め、観光客の増加に寄与することができる。</p> <p>また、本市では「まちづくり市民アンケート」を毎年実施しており、その中で近代化遺産についての周知率が年々向上している。例えば世界文化遺産の構成資産となった宮原坑は、平成27年度調査では、78.8%だったのが、平成28年度調査では84.9%にまでポイントがあがり、地域の文化資源として近代化産業遺産が、市民にとって広く認識されつつある。本計画実施により、認知度だけでなく、その資産が果たした歴史的役割を理解し、地域への愛着を深めることで、コミュニティ再生・活性化の契機となる。</p>			
10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）			
事業概要：	特になし		
事業概要：			
事業概要：			
11 「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等			
「歴史文化基本構想」等については、現時点では作成の見込みはない。			
12 担当部局			
地方公共団体 担当部局課	大牟田市 企画総務部 世界遺産・文化財室		

様式 1-1 別紙②

8 (2) 実施事業の概要 別紙

事業①:	三池炭鉱関連資産子ども向けパンフレット作成事業		実施団体:	大牟田市近代化産業遺産を活用したまちづくり協議会		
事業区分:	情報発信		事業期間:	平成 29 年度 ~ 平成 29 年度		
事業概要:	<p>明治日本の産業革命遺産の概要、宮原坑をはじめとする世界遺産施設、その他市内に数多く残る三池炭鉱関連の近代化産業遺産の歴史や価値を小中学生が分かりやすく理解できるよう、子ども向けパンフレットを作成する。パンフレットは、イラストや写真を多用し、表現も平易にすることで、子どもはもとより、大人が見ても分かりやすい内容とするよう工夫を凝らすものとする。このパンフレットは、各資産等を見学する小中学生や市内の小中学生に配布するほか、大牟田市のホームページにも掲載し、広く活用を図っていく。</p>					
評価指標区分:	・補助事業終了後のパンフレット等コンテンツ増刷数（自主事業分）			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標:	補助事業終了後（30年度以降）のパンフレット増刷数					
目標値:	平成 29 年度		0 部		⇒ 平成 31 年度 15,000 部	
進捗状況:	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 年度	平成 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	
部	部	部	部	部	部	
事業②:	ガイドマニュアル作成事業		実施団体:	大牟田市近代化産業遺産を活用したまちづくり協議会		
事業区分:	人材育成		事業期間:	平成 29 年度 ~ 平成 29 年度		
事業概要:	<p>大牟田市では、世界文化遺産に登録された宮原坑や三池港にガイドを配置し、来訪者に対し施設の案内を行っている。また、三池炭鉱関連施設をはじめとする大牟田市の観光案内を行う、観光ボランティアガイドも活動している。</p> <p>一見するだけでは理解し難い近代化産業遺産を分かりやすく理解するには、ガイドによる解説が必要不可欠であり、ガイドの技術向上の取組は喫緊の課題となっている。また、大牟田市のガイド活動の問題点として、マニュアル等が存在せず、各ガイドが統一した解説内容とはなっていないことが挙げられる。こうしたことから、ガイド育成のための取組として、ガイドマニュアルを作成する。</p> <p>ガイドマニュアルには、明治日本の産業革命遺産、三池炭鉱の歴史や文化、ガイドの心得などを盛り込み、ガイド全員に配布する。</p>					
評価指標区分:	・ボランティアガイド利用者数			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標:	各施設のガイド、観光ボランティアガイドの利用者を毎年3,000人程度増加させる。					
目標値:	平成 28 年度		59,500 名		⇒ 平成 31 年度 68,800 名	
進捗状況:	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 年度	平成 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	
名	名	名	名	名	名	